

奥州市景気動向調査

実績：令和6年7月～令和6年9月期 見通し：令和6年10月～令和6年12月期

令和6年11月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

◇今期のポイント

「業況・売上DI値共に下振れに底打ち感 先行き見通しは回復傾向を示す」

- 全産業合計の業況DIは▲29.7と、前回調査(▲30.4)から0.7ポイント改善した。
- 全産業合計の売上DIは▲27.3と、前回調査(▲25.1)から2.2ポイント悪化した。
- 向こう3ヵ月(10月～12月)の先行き見通しは、業況DI・売上DI共に今期実績よりも改善する見通しとなった。
- 採算DIは前回よりも改善、資金繰りDI・仕入単価DIは前回よりも悪化を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が緩和する結果となった。

今回の調査では、全産業合計の業況DIは前回調査から0.7ポイント上昇して▲29.7となり、前回調査時の見通し▲31.2よりも若干の改善を示した。売上DIについては前回調査から2.2ポイント下落して▲27.3となり悪化となったが、こちらも前回調査時の見通し▲29.6よりも改善を示した。

業種別でみると、小売業が業況・売上DI共に前回実績及び見通しよりも改善を示した。一方で建設業は業況・売上DI共に前回実績及び見通しよりも悪化を示している。他の業種では製造業が業況・売上DI見通しが前回見通しよりも改善を示した

夏季賞与の支給については業種全体で73.6%が「支給した」と回答した。業種別では卸売業・製造業・建設業・サービス業が70%以上の割合、小売業でも50%以上の割合となった。「支給した」と回答した事業所の1人当たりの支給額の前年比は、業種全体で「前年より増加又は昨年並み」と回答した割合が80%を超え、「支給しない」と回答した事業所の内容は「以前から支給していない」が80%以上を占めた。

原材料・物価高騰に伴う影響については「大きな影響がある」「多少の影響がある」合わせて97.8%と殆どの事業所が何らかの影響を受けていると回答。その対策については「取引先と交渉する」「商品や製品自体の見直し(値上げや減量等)」「仕入先や原材料の調達先を変更する」という回答が多く、原材料・物価高騰対策に苦慮している姿が伺える。一方「特に対策は取っていない」という回答も一定数あった。

自由意見では「経費の削減」「こちらから顧客を選ぶ」「全員で節電に取り組んだ」「使用する消耗品等の品質を下げる」等様々な意見が寄せられた。

〔 調 査 要 領 〕

- 調査期間：令和6年10月1日～23日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和6年7月～令和6年9月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

《調査票回収企業数》

回答数236 回収率78.7% (小売46・卸売27・製造53・建設46・サービス64)

※景況判断指数(DI値)について

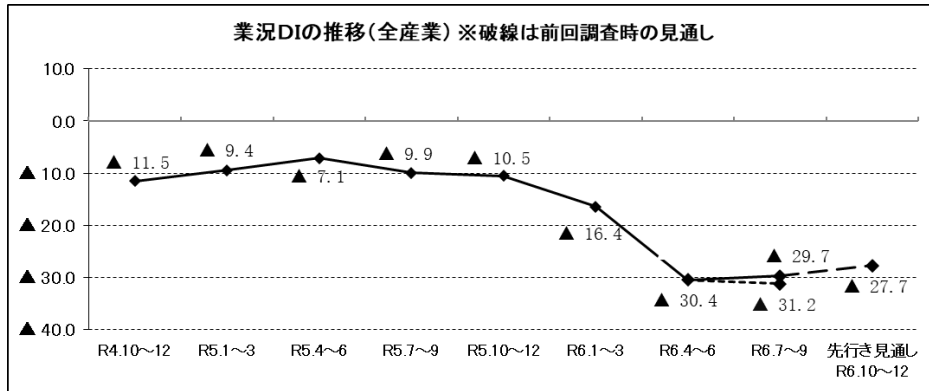
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

【業況D Iの推移】

今回調査の全産業合計の業況D Iは▲29.7と、前回調査(▲30.4)から0.7ポイント改善した。業種別では小売業が▲41.3(前回調査▲42.9)と1.6ポイントの改善、卸売業が▲50.0(前回調査▲34.5)と15.5ポイントの悪化、製造業が▲25.0(前回調査▲40.0)と15.0ポイントの改善、建設業が▲29.5(前回調査▲29.2)と0.3ポイントの悪化、サービス業が▲17.2(前回調査▲13.1)と4.1ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(10月~12月)の業況D Iの先行き見通しについては▲27.7と、前回の調査見通し(▲31.2)及び今期実績よりも改善する見通しとなった。業種別では小売業・製造業・サービス業で数値が改善の見通し、卸売業・建設業で数値が悪化の見通しを示している。



※前回調査との対比を表す「矢印」について

▲26.0以上	↑
▲25.9~▲5.1	↗
▲5.0~▲5.0	→
▲5.1~▲25.9	↘
▲26.0以下	↓

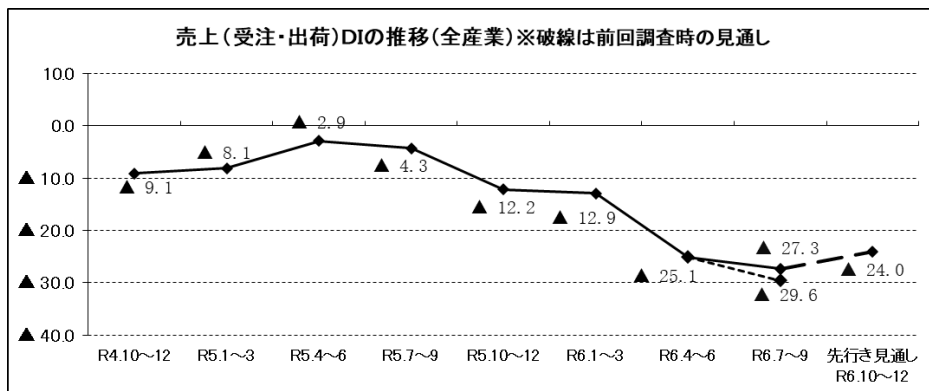
業況DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲41.3	↘ ▲50.0	↗ ▲25.0	↗ ▲29.5	↘ ▲17.2
前回	▲42.9	▲34.5	▲40.0	▲29.2	▲13.1
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲31.1	↘ ▲48.0	↗ ▲26.4	↗ ▲27.3	↗ ▲18.8
前回	▲42.5	▲41.4	▲37.3	▲24.0	▲19.7

【売上D Iの推移】

今回調査の全産業合計の売上D Iは▲27.3と、前回調査(▲25.1)から2.2ポイント悪化した。業種別では小売業が▲28.3(前回調査▲45.2)と16.9ポイントの改善、卸売業が▲46.2(前回調査▲37.9)と8.3ポイントの悪化、製造業が▲34.6(前回調査▲31.4)と3.2ポイントの悪化、建設業が▲37.2(前回調査▲14.6)と22.6ポイントの悪化、サービス業が▲6.3(前回調査▲8.2)と1.9ポイントの改善を示している。

向こう3ヵ月(10月~12月)の売上D Iの先行き見通しについては▲24.0と、前回の調査見通し(▲29.6)及び今期実績よりも改善する見通しとなった。業種別では小売業・卸売業・製造業で数値が改善の見通し、建設業・サービス業で数値が悪化の見通しを示している。



売上DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲28.3	↘ ▲46.2	↗ ▲34.6	↘ ▲37.2	↗ ▲6.3
前回	▲45.2	▲37.9	▲31.4	▲14.6	▲8.2
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲31.1	↗ ▲40.0	↗ ▲17.0	↗ ▲23.9	↘ ▲18.8
前回	▲42.5	▲41.4	▲41.2	▲20.0	▲13.3

【採算・資金繰り・仕入単価・従業員D I】

採算DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲29.4	↗ ▲34.8	↘ ▲53.8	↗ ▲32.7	↗ ▲27.9	↗ ▲14.1
前回	▲34.6	▲50.0	▲34.5	▲45.1	▲29.2	▲19.7
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲28.8	↗ ▲37.8	↗ ▲40.0	↑ ▲17.0	↗ ▲32.6	↗ ▲25.0
前回	▲38.9	▲50.0	▲55.2	▲46.0	▲28.6	▲26.2

全産業合計の採算DIは▲29.4と、前回調査(▲34.6)から5.2ポイント改善した。業種別では小売業・製造業・建設業・サービス業で数値が改善、卸売業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

資金繰りDI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲22.7	↘ ▲32.6	↗ ▲19.2	↗ ▲21.6	↗ ▲18.6	↘ ▲20.6
前回	▲20.7	▲26.2	▲24.1	▲27.5	▲18.4	▲11.5
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲21.6	↘ ▲37.8	↗ ▲16.0	↗ ▲19.2	↗ ▲13.0	↘ ▲20.6
前回	▲22.3	▲30.0	▲34.5	▲27.5	▲12.2	▲15.0

全産業合計の資金繰りDIは▲22.7と、前回調査(▲20.7)から2.0ポイント悪化した。業種別では卸売業・製造業で数値が改善、小売業・建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

仕入単価DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲78.5	↗ ▲73.9	↗ ▲80.0	↗ ▲76.9	↗ ▲79.1	↘ ▲82.3
前回	▲76.0	▲69.0	▲92.9	▲76.5	▲80.9	▲68.9
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲68.4	↗ ▲68.9	↗ ▲83.3	↗ ▲46.2	↗ ▲68.9	↘ ▲80.6
前回	▲69.7	▲77.5	▲82.1	▲66.7	▲69.4	▲61.7

全産業合計の仕入単価DIは▲78.5と、前回(▲76.0)から2.5ポイント悪化した。業種別では卸売業・建設業で数値が改善、小売業・製造業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(下落)-(上昇)

従業員DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ 27.9	↗ 22.7	↗ 19.2	↗ 9.6	↘ 44.2	↗ 39.1
前回	29.8	20.0	10.3	13.7	53.2	41.0
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ 31.6	↗ 25.6	↗ 20.0	↗ 15.1	↘ 46.5	↗ 43.8
前回	29.4	18.4	6.9	11.8	53.1	42.6

全産業合計の従業員DIは27.9と、前回(29.8)から1.9ポイント人手不足感が緩和する結果となった。業種別では小売業・卸売業で人手不足感が強まり、製造業・建設業・サービス業で人手不足感が緩和する結果となった。

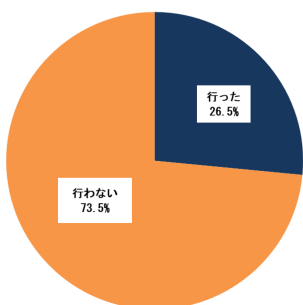
※DI値=(不足)-(過剰)

【経営環境】

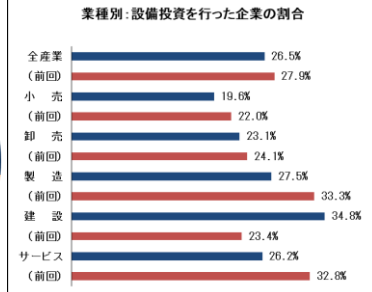
天候の影響(%)	好影響	影響なし	悪影響	人件費率(%)	上昇	変化なし	低下	業種間競争(%)	緩和	変化なし	激化
全産業	5.3%	67.0%	27.7%	全産業	45.5%	51.8%	2.7%	全産業	0.4%	67.7%	31.9%
(前回)	4.4%	77.9%	17.7%	(前回)	52.2%	45.1%	2.7%	(前回)	1.8%	70.2%	28.1%
小売業	2.3%	70.4%	27.3%	小売業	35.7%	59.5%	4.8%	小売業	0.0%	61.4%	38.6%
(前回)	2.5%	75.0%	22.5%	(前回)	33.3%	64.1%	2.6%	(前回)	0.0%	70.7%	29.3%
卸売業	11.5%	61.5%	27.0%	卸売業	26.9%	61.5%	11.6%	卸売業	0.0%	60.0%	40.0%
(前回)	3.4%	75.9%	20.7%	(前回)	48.3%	51.7%	0.0%	(前回)	0.0%	69.0%	31.0%
製造業	3.9%	78.8%	17.3%	製造業	55.8%	42.3%	1.9%	製造業	2.0%	68.6%	29.4%
(前回)	2.0%	85.7%	12.2%	(前回)	60.8%	39.2%	0.0%	(前回)	3.9%	74.5%	21.6%
建設業	13.6%	54.6%	31.8%	建設業	58.1%	41.9%	0.0%	建設業	0.0%	61.4%	38.6%
(前回)	12.5%	70.8%	16.7%	(前回)	65.2%	30.4%	4.3%	(前回)	4.1%	57.1%	38.8%
サービス業	0.0%	65.6%	34.4%	サービス業	42.6%	57.4%	0.0%	サービス業	0.0%	79.0%	21.0%
(前回)	1.7%	80.0%	18.3%	(前回)	49.2%	45.8%	5.1%	(前回)	0.0%	77.6%	22.4%

天候の影響は、全産業で好影響が5.3%、影響なしが67.0%、悪影響が27.7%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が45.5%、変化なしが51.8%、低下が2.7%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が0.4%、変化なしが67.7%、激化が31.9%という回答となった。

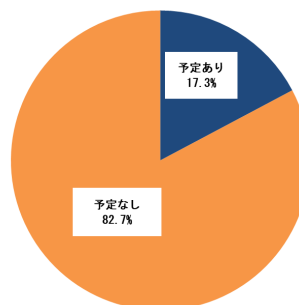
設備投資を行ったか



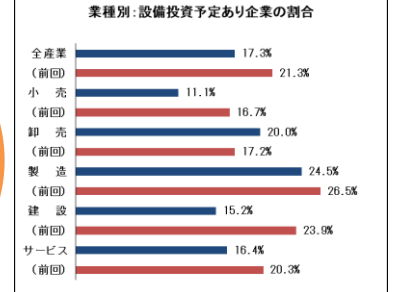
業種別:設備投資を行った企業の割合



設備投資予定



業種別:設備投資予定あり企業の割合



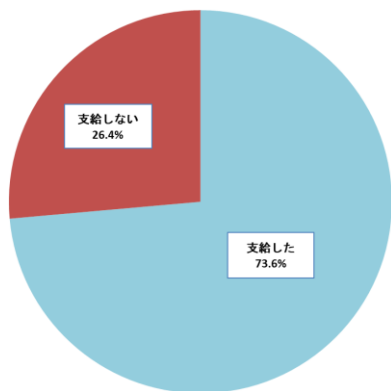
設備投資は全産業で26.5%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(27.9%)よりも減少した。今後、設備投資の予定があると答えた事業所は17.3%となり前回調査(21.3%)よりも減少した。

【臨時調査】2024年の夏季賞与について

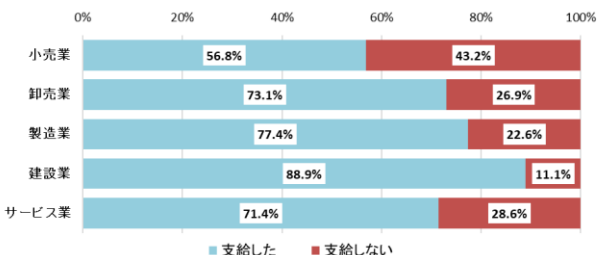
今年の夏季賞与（ボーナス・一時金）の支給について尋ねたところ、業種全体では「支給した」が73.6%、「支給しない」が26.4%となった。業種別では建設業で「支給した」の割合が88.9%と高く、卸売業・製造業・サービス業で「支給した」の割合が70%を超え、小売業で「支給した」の割合が56.8%と半数を超えた。

過去3年間の夏季賞与支給状況を比較したところ、コロナ禍だった2022年に比べて「支給した」の割合が増加を示した。業種別では小売業・サービス業で「支給した」の割合が年々増加している。

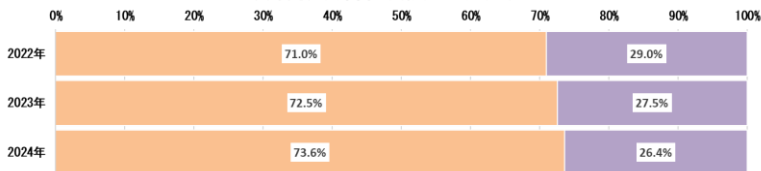
今年の夏季賞与（ボーナス・一時金）を支給しましたか
（全産業）



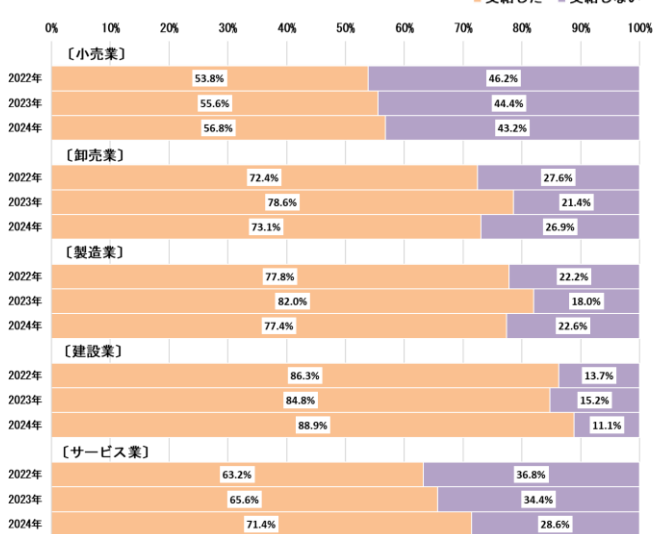
今年の夏季賞与（ボーナス・一時金）を支給しましたか（業種別）



【年度毎】夏季賞与支給状況（全産業）



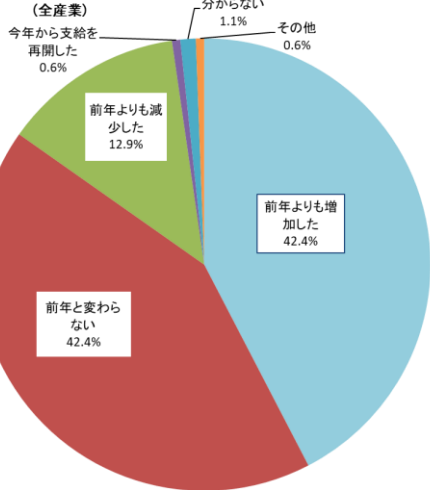
【年度毎】夏季賞与支給状況（業種別）



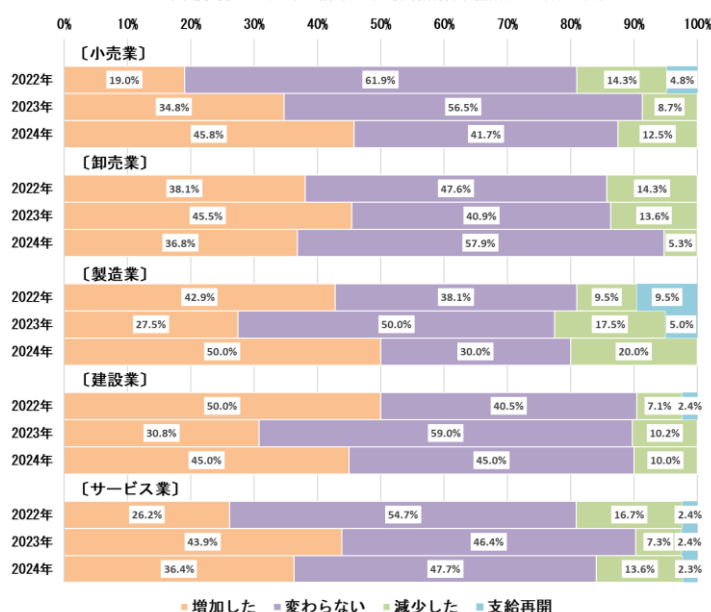
「支給した」と回答した事業所に、1人当たりの支給額が前年と比較してどうだったかを尋ねたところ、業種全体では「前年より増加した」が42.4%、「前年と変わらない」が42.4%、「前年より減少した」が12.9%となった。業種全体で「前年より増加又は昨年並み」と回答した割合が80%を超えている。

「支給した」と回答した事業所の過去3年間の比較を業種全体で見ると、2024年は過去2年と比較して「前年より増加した」の割合が増加している。業種別では小売業において「前年より増加した」の割合が年々増加している。

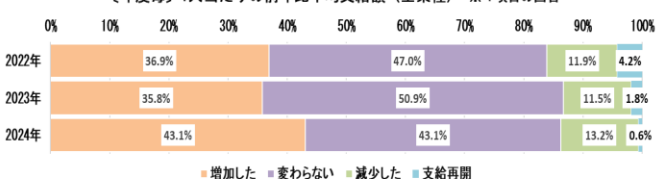
（支給した）1人当たりの平均支給額は
前年と比較してどうなりましたか
（全産業）



【年度毎】1人当たりの前年比平均支給額（業種別）※4項目の回答

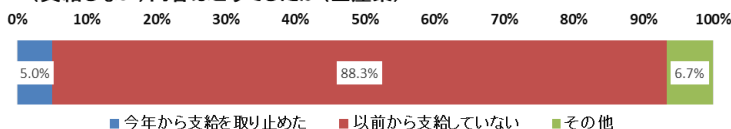


【年度毎】1人当たりの前年比平均支給額（全産業）※4項目の回答



「支給しない」と回答した事業所に、その内容を尋ねたところ、「以前から支給していない」が88.3%と大半を占め、「今年から支給を取りやめた」が5.0%、「その他」が6.7%となった。また「その他」として賞与を出さない代わりに基本給を充実させているという意見があった。

(支給しない)内容はどうでしたか(全産業)



夏季賞与「支給しない」その他

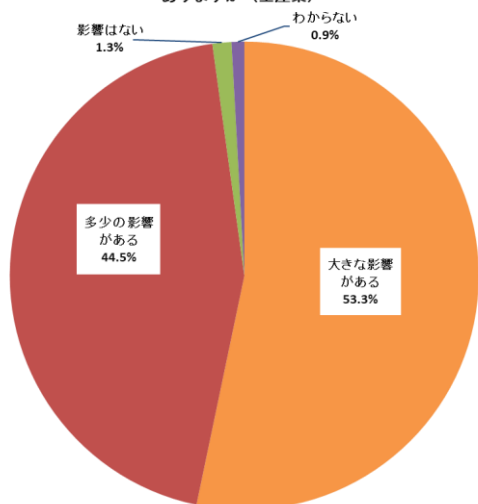
- ・支給していないがその分給料を高くしている(建設業)
- ・基本給を充実させる(サービス業)
- ・夏季ではないが秋頃支給予定(サービス業)

【臨時調査】原材料・物価高騰に伴う影響及び対策について

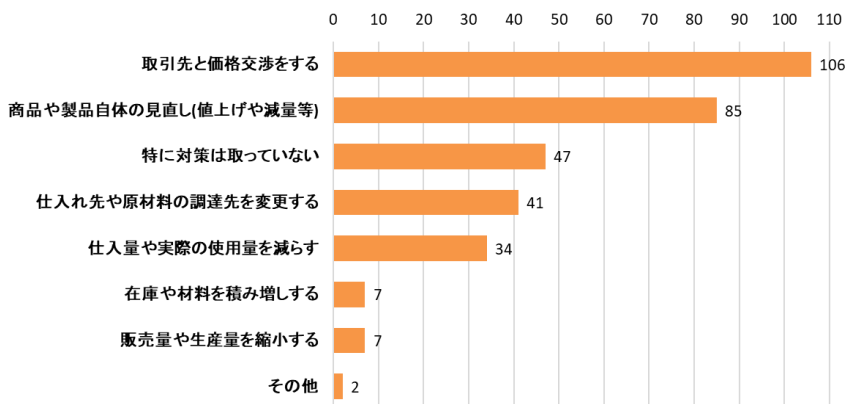
昨今の原材料・物価高騰が企業経営にどの程度影響があるかを尋ねたところ、業種全体では「大きな影響がある」が53.3%、「多少の影響がある」が44.5%、「影響はない」が1.3%、「わからない」が0.9%となり、「大きな影響がある」「多少の影響がある」合わせて97.8%と殆どの事業所が何らかの影響を受けている事が伺える。

原材料・物価高騰に対して、どのような対策を取っているかを複数回答で尋ねたところ、業種全体で一番多かったのは「取引先と交渉する」で106件、次に「商品や製品自体の見直し(値上げや減量等)」が85件となった。他に「仕入先や原材料の調達先を変更する(41件)」「仕入量や実際の使用料を減らす(34件)」という対策も多かった。また「特に対策は取っていない」という回答が47件あった。

昨今の原材料・物価の高騰は企業経営にどの程度影響がありますか(全産業)



原材料・物価高騰に対する対策 ※全業種(複数回答:件)



【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・物価高、送料含め小売価格の上昇で売上が減少
- ・地元イベントで売上幾分上昇、あとはお歳暮に期待
- ・業態転換を考えている

(卸売業)

- ・7-9月は天候の影響で業況が厳しかった
- ・値上げが続いて皆の生活が厳しい状況になっているため、小売業は段々縮小傾向になると思う
- ・とにかく異常気象が農作物に与える影響が年々大きくなってきている

(製造業)

- ・コロナ禍よりも厳しい状況だ
- ・「お客様は神様」ではなく、こちらから顧客を選んでいく
- ・最低賃金上昇のため、加工仕入価格や原材料費が上昇している

(建設業)

- ・住宅建築において新築の物件数が一気に落ち込んでいる。そのためここに関連する会社の売上がかなり低迷している
- ・将来の技術者不足への対応として外国人就労者を雇用し教育している
- ・若年労働者が不足しているため、機械化を推進している

(サービス業)

- ・最低賃金のアップが予想されるが、商品への価格転嫁が非常に厳しい
- ・従業員全員で節電に意識的に取り組んでいる
- ・仕入原価高騰のため、使用する消耗品等の品質を下げざるを得なくなっている

◇奥州市景気動向調査票《実績7~9月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに○をつけ「10月11日(金)」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名

(1) 業 種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

A 小売業 B 卸売業 C 製造業 D 建設業 E サービス業

(2) 業況判断：あなたの企業の業況は、前年同期(7月~9月)と比較してどのような状況と判断されますか？

① 7~9月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(3) 売上高：売上高(受注高・出荷高)は、前年同期(7月~9月)と比較してどうですか？

① 7~9月実績

増加	変わらず	減少
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

増加	変わらず	減少
----	------	----

(4) 採 算：採算は、前年同期(7月~9月)と比較してどうですか？

① 7~9月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(5) 資金繰り：資金繰りは、前年同期(7月~9月)と比較してどうですか？

① 7~9月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(6) 仕入単価：仕入単価は、前年同期(7月~9月)と比較してどうですか？

① 7~9月実績

下降	変わらず	上昇
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

下降	変わらず	上昇
----	------	----

(7) 従業員数：従業員数は、前年同期(7月~9月)と比較してどうですか？

① 7~9月実績

不足	適正	過剰
----	----	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

不足	適正	過剰
----	----	----

(8) 経営環境：7月~9月の経営状況について、該当する項目にお答え下さい。

①天候の影響

好影響・影響なし・悪影響

 ②人件費率

上昇・変化なし・低下

 ③業種間競争

緩和・変化なし・激化

④設備投資

行った・行わない

 ⑤設備投資予定(今後3ヵ月以内)

予定あり・予定無し

◎臨時調査〔2024年の夏季賞与について〕

(9-1)：貴社では今年の夏季賞与(ボーナス・一時金)を支給しましたか？

・支給した →(9-2)へ

・支給しない →(9-3)へ

(9-2)「支給した」と答えた方

1人当たりの平均支給額は前年と比べてどうでしたか？

①前年よりも支給額が増加した ②前年と支給額は変わらない ③前年よりも支給額が減少した
④今年から支給を再開した ⑤分からない ⑥その他()

(9-3)「支給しない」と答えた方 内容はどうでしたか？

① 今年から支給を取りやめた ②以前から支給していない ③その他()

◎臨時調査〔原材料・物価高騰に伴う影響及び対策について〕

(10-1) 昨今の原材料・物価の高騰は企業経営にどの程度影響がありますか？

大きな影響がある	多少の影響がある	影響はない	わからない
----------	----------	-------	-------

(10-2) 原材料・物価高騰に対する対策についてお答えください(複数回答)

・取引先と価格交渉をする
・在庫や材料を積み増しする
・販売量や生産量を縮小する
・仕入量や実際の使用量を減らす
・仕入れ先や原材料の調達先を変更する
・商品や製品自体の見直し(値上げや減量等)
・特に対策は取っていない
・その他()

(11) その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。